

## 「防災に対する企業の取組み」自己評価項目表の活用について

### 1. 自己評価項目表の試行に基づくご意見

これまで、自己評価項目表の試行に関し、6つの業界団体からご意見を頂いている。結果について以下に示す。

■自己評価項目表の使い勝手に対する意見としては、使い方に関する当方の説明不足によると思われる意見が多々見受けられた。このため、試行時に考慮して頂きたい点を以下に示す。

- ・ 本自己評価項目表は、企業防災の対応力の評価を目的に作成されたものであり、企業防災の延長として事業継続を捉えているものである。
- ・ 各評価項目は、全業界の最大公約数的な項目を挙げている。従って、各企業において自己評価を行う場合は、自社の防災に対する基本方針ならびに業態を考慮し、項目の過不足を修正した上で評価を行うことを勧めている。
- ・ 評価結果の重み付けに関しては、各企業、各業界団体の自由判断とすること、また総合点の算出は、得点のみでいたずらに企業比較をすることは好ましくないとの業界の要望があり、作成時の議論の結果として行わないこととされている。

■自社・所属業種に特有の意見としては、以下のようなものがある。これらに関しては、今後の委員会での検討結果を踏まえ、必要に応じて補足説明として整理する。

◇仮設の工事現場事務所の扱い方が難しい。状況が一樣でない有期の工事事務所を一律には評価しにくい。

◇企業によっては、「防災に貢献する商品サービスの向上」という概念が馴染まないケースがあると思われる。

■設問毎の意見の中でも共通の意見と判断されるものについては、自己評価項目表に注意書きを追加する等、補足説明を加えることとする。

### 2. 自己評価項目表の試行結果と情報交換の在り方

■自己評価項目表の試行結果は、4業界団体の計46企業から提供頂いた。そのうち、複数の回答が得られた3つの業界団体毎に、各設問に対し企業の回答率、回答レベルの平均値、回答レベルの割合について集計・整理した。結果は以下の通り。

- ・ 回答率は、必須項目においてはほぼ100%の回答を得ているが、基礎・推奨項目においては、同一業界内であっても自社に該当しないとして回答をしていない企業があるため100%に達していない項目があった。
- ・ 回答レベルの平均値は、必須項目においては各業界団体とも比較的高い値を示しているが、基礎、推奨項目においては業界団体毎ならびに企業毎にも値に差があった。

- ・ 回答レベルの割合は、設問毎の業界内における取組みレベルの比率を示したもので、各業界における取組み状況を把握できる。各業界は業界全体の企業防災レベルを把握し、業界に共通な弱点の解消に向けた取組みを行うことができる。
- ・ 各企業は、自己レベル値との比較から今後取組みを強化すべき項目の検討が可能となる。

■情報交換の在り方については、業界内の防災対応レベルの向上を期待する意見、あくまでも各企業独自の自己評価であり、評価結果の数値の開示も特に必要ないとする意見等、賛否両論であった。

■今後の情報交換のあり方としては、以下が考えられる。

- ① 各業界団体は、本自己評価項目表により業界内各企業に対し評価を実施（今回の試行評価）し、実施結果の回答率、回答レベルの割合ならびに各企業から意見を勘案し、各項目の属性（必須、基礎、推奨）の見直しと業界特有の項目（必須／基礎）の追加・削除等を行い、業界版自己評価項目表を作成する。また、作成に当たっては今回の試行において寄せられた各企業からの様々な貴重な意見を反映し作成することが望ましい。
- ② 各企業は、業界版自己評価項目表を参考に自社業態等を勘案した評価項目の追加・削除を行い、自社版自己評価項目表を作成してもよい。
- ③ 業界団体内で情報交換を行う場合は、定期的に継続して実施することが必要である。

以上